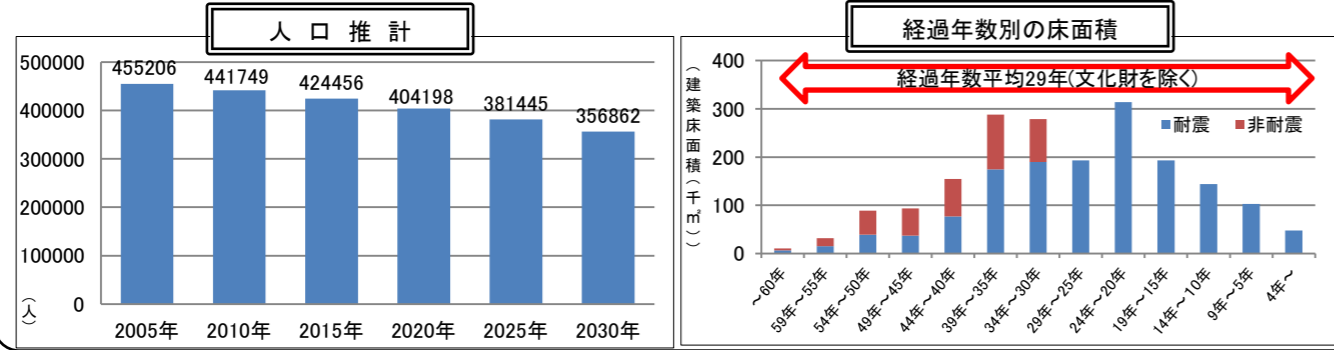


長崎市公共施設マネジメント基本計画の概要

第1章 はじめに ～計画策定の背景とその意義～

背景 1 人口の減少 2 施設の老朽化 3 厳しい財政状況



意義

全市的・経営的な視点から効果的かつ効率的な施設の管理運営を推進する取組みとして「公共施設マネジメント」を実践することで、公共施設が抱える諸課題に対応する。

第2章 公共施設を取り巻く環境の変化への対応

《公共施設が抱える課題》

- 1 市民ニーズの多様化への対応
- 2 大量更新への備え
- 3 配置バランスの変化への対応
- 4 経営資産としての転換の必要性
- 5 厳しい財政状況への対応

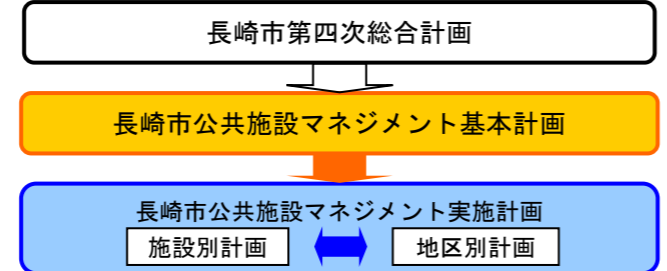
第3章 公共施設マネジメントの目的

1 基本理念と基本目標(公共施設の目指すべき姿)



2 基本計画の位置付け

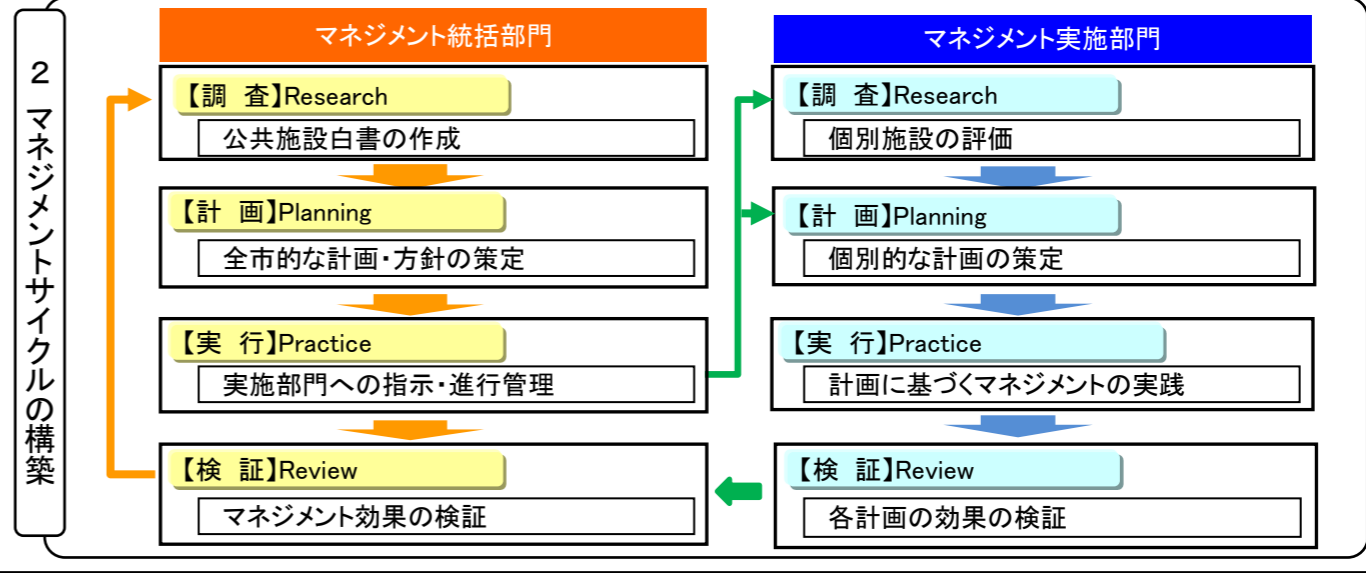
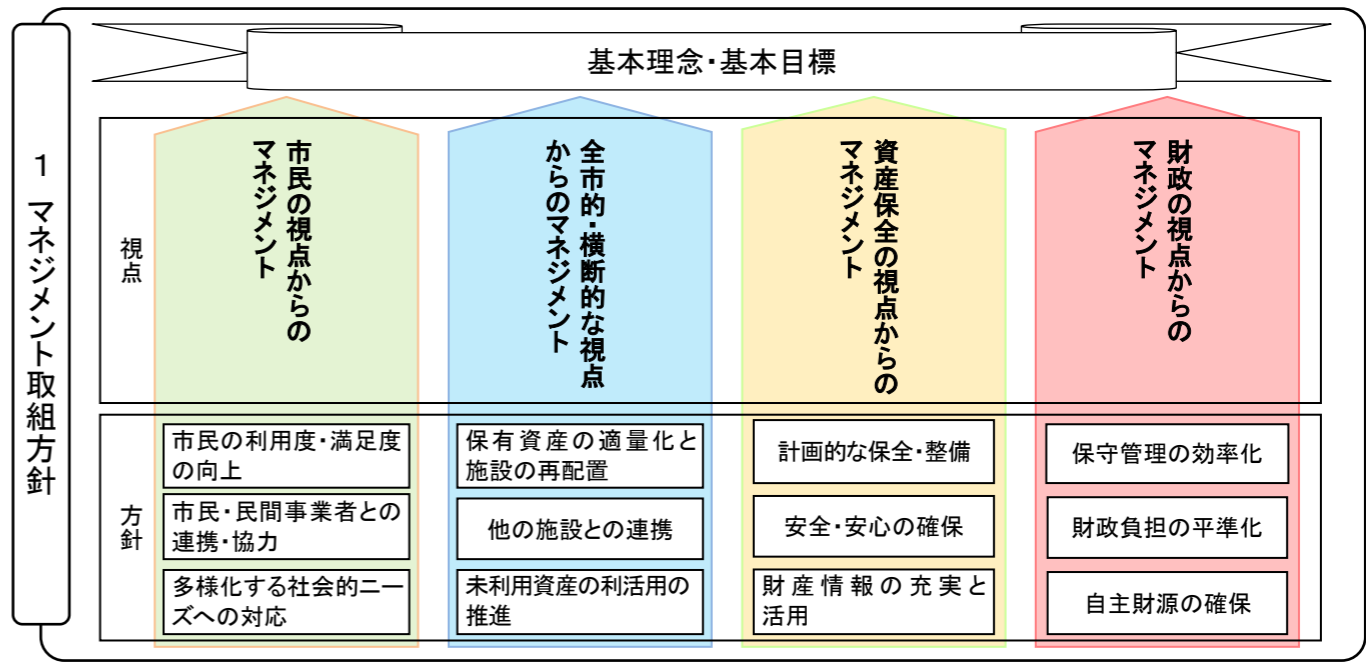
この基本計画は、すべての公共施設でマネジメントを行うに当たっての基本的な推進方針を示す計画であり、公共施設マネジメントにおける最上位計画と位置付ける。



3 「公共施設」の定義

この基本計画における、「公共施設」とは、建物や「公の施設」などいわゆる公共施設だけでなく、「普通財産」も含めて所有するすべての不動産(土地・建物)と借り上げて公用または公共用に供する不動産(ただし、企業会計の財産と山林等を除く。)とする。

第4章 マネジメント基本指針



第5章 おわりに ～基本計画の実現に向けて～

1 公共施設マネジメントの進め方

作業内容	年度				
	H24	H25	H26	H27	H28～
【STEP1】施設毎の現状の分析と評価	→				
【STEP2】用途別の適正化方針の策定		→			
【STEP3】地区別計画の策定			→	→	→
【STEP4】施設別計画の策定				→	→
【STEP5】地区別計画と施設別計画の推進					→

2 マネジメント推進体制

